

コニカミノルタ「AccurioLabel 190」導入企業座談会レポート

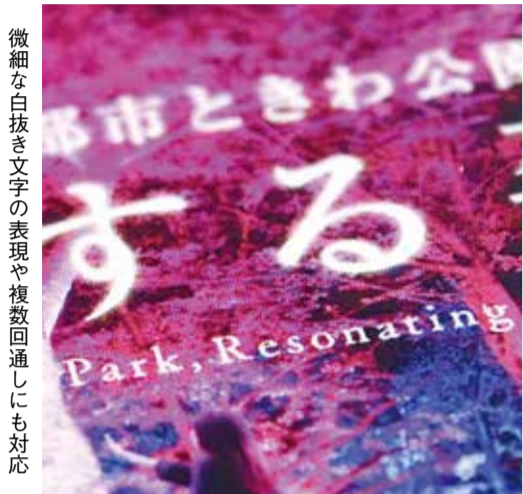
デジタル印刷機の現状と可能性

株式会社ワールド・プリンター（東京都荒川区西尾久、齋藤和則社長、03-3800-5433）は昨年12月、電子写真（EP）方式のデジタルラベル印刷機「AccurioLabel 190」を導入。今回、同機を2年前に導入した（株）カムシーリング（埼玉県所沢市大字南永井、04-2944-1381）の城篤史社長と、事業会社であるコニカミノルタジャパン（株）の担当者らとを交えて、デジタル印刷の現状と将来性などについて座談会を行った。（大野）



カムシーリング 城 篤史社長 煩雑な工程“楽に”実現 人材難の解消へ向け

も社員が食べやすい環境を作る義務があります。デジタル印刷機を導入したのもこの仕事は自分たちが持っているものと自覚をもち、デジタルとコンベンショナルを融合させたいという思いからです。



「Park, Resonating」という文字の表現や複数回通しにも対応できる。また、細かい文字の表現や複数回通しにも対応できる。

加工技術生かす「JUST-FIT」な1台



ワールド・プリンター 齋藤 和則社長 変革へ備え早期に着手 提案営業のきっかけに



既存設備で対応難しい案件の獲得へ。デジタル印刷機の導入は、既存設備で対応できない案件の獲得に大きく貢献しています。

安定した高品位印刷を システムの拡充も視野

安定した高品位印刷をシステムの拡充も視野。デジタル印刷機の導入は、安定した高品位印刷を実現するための重要な要素です。

多面付け駆使し効率化。デジタル印刷機の導入は、多面付け駆使による効率化を実現するための重要な要素です。



コニカミノルタジャパン 三澤 守氏 (右) 那須 雄介氏 (左) 後加工機はオフラインで運用している。



デジタル印刷機の導入は、既存設備で対応できない案件の獲得に大きく貢献しています。

既存設備で対応難しい案件の獲得へ。デジタル印刷機の導入は、既存設備で対応できない案件の獲得に大きく貢献しています。

デジタル印刷機の導入は、既存設備で対応できない案件の獲得に大きく貢献しています。

ちよどいいサイズ “JUST-FIT” ラベルプリンター誕生。

世界的に拡大していくデジタルラベル市場の中心となるべく誕生した「AccurioLabel 190」。コニカミノルタが長年培ってきた最先端テクノロジーで築上げたプロダクションプリンターをエンジンとして採用。品質とコストの両側面からお客様のニーズに絶妙なバランスで応え、ビジネス拡大に貢献します。

デジタルラベルプリンター

AccurioLabel 190

- オフセット印刷に迫る1200dpiの高画質
- バリエーション印刷で真価を発揮する高速コントローラー搭載
- クラス高水準、タック紙で毎分13.5mの生産性*
- FDA(アメリカ食品医薬品局)基準に準拠

※毎分18.9m/13.5m/9.45mの3段階よりメディアに合わせて切り替え

Giving Shape to Ideas